

**観音寺市新学校給食センター  
整備運営事業**

**審査講評**

令和5年5月23日

観音寺市新学校給食センターPFI事業者選定委員会

観音寺市新学校給食センターPFI 事業者選定委員会（以下、「選定委員会」という。）  
は、審査基準に基づいて審査を行いましたので、審査結果及び審査講評を報告します。

令和5年5月23日

観音寺市新学校給食センターPFI 事業者選定委員会  
委員長 吉長 成恭

## — 目 次 —

<b>第 1 事業者の選定体制</b> .....	<b>1</b>
<b>第 2 選定委員会の開催経過</b> .....	<b>1</b>
<b>第 3 審査の手順</b> .....	<b>2</b>
1. 参加資格審査（第一次審査） .....	2
2. 提案内容審査（第二次審査） .....	2
<b>第 4 審査の結果</b> .....	<b>3</b>
1. 参加資格審査（第一次審査） .....	3
2. 提案内容審査（第二次審査） .....	4
<b>第 5 審査の講評</b> .....	<b>7</b>
1. 各評価項目の講評.....	7
2. 審査の総評.....	10

## 第1 事業者の選定体制

最優秀提案者の選定は、下表記載の5名の委員により構成する選定委員会が行った。

役職	氏名	所属等
委員長	吉長 成恭	一般社団法人ちゅうごくPPP・PFI推進機構代表理事 国土交通省PPPサポーター
副委員長	中山 哲士	岡山理科大学工学部建築学科准教授
委員	宮武 千津子	栄養教諭、元香川県教育委員会事務局保健体育課主任指導主事
委員	挽田 公孝	観音寺市副市長
委員	三野 正	前観音寺市教育委員会教育長（令和5年3月31日まで在任）

## 第2 選定委員会の開催経過

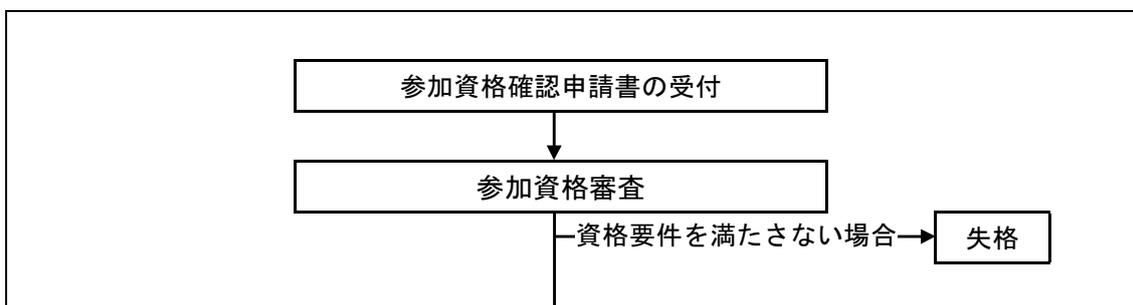
選定委員会は、5回開催した。主な審議事項は下表のとおりである。

回数	開催日	主な審議事項
第1回	令和4年5月16日（月）	・ 事業概要説明 ・ 今後のスケジュールの説明 ・ 審査基準の作成方針の審議
第2回	令和4年11月24日（木）	・ 事業概要について（説明事項） ・ 委員会開催スケジュールについて ・ 審査基準（案）について
第3回	令和4年12月7日（水）	・ 第2回委員会意見概要について ・ 審査基準（案）について ・ プレゼンテーション及びヒアリング実施要領について ・ 審査の進め方について
第4回	令和5年4月24日（月）	・ 提案内容に対する意見交換 ・ 第5回選定委員会について
第5回	令和5年4月26日（水）	・ 事業者ヒアリング ・ 各評価項目の審査 ・ 最優秀提案者の選定 ・ 審査講評（案）について

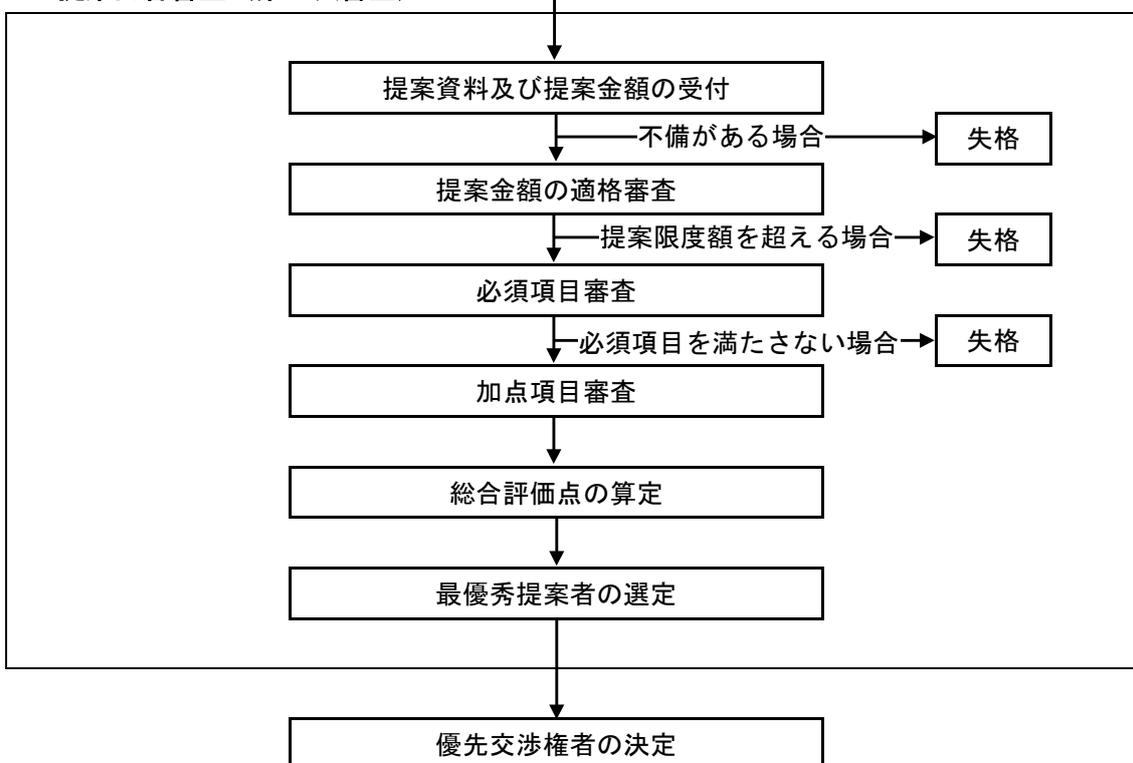
### 第3 審査の手順

最優秀提案者の選定は以下に示す手順により行った。

#### 1. 参加資格審査（第一次審査）



#### 2. 提案内容審査（第二次審査）



## 第4 審査の結果

### 1. 参加資格審査（第一次審査）

令和5年2月17日までに、2グループから参加表明書、参加資格審査申請書類の提出があり、全グループともに募集要項に示す参加資格要件を満たしていることを確認した。

令和5年3月1日付で、各グループの代表企業に対して参加資格を有する旨の審査結果を書面にて通知した。

#### 【参加者一覧】

参加者	受付番号	構成員	
ジーエスエフ グループ	15	代表企業	・ 株式会社ジーエスエフ
		構成企業	・ 株式会社梓設計関西支社 ・ 株式会社藤田工務店 ・ 株式会社石川組 ・ 株式会社アイホー四国営業所 ・ 株式会社合人社計画研究所 ・ コーベフーズ株式会社
		協力企業	・ 四国厨房器製造株式会社
シダックス大新東 ヒューマンサービス グループ	61	代表企業	・ シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社
		構成企業	・ 株式会社合田工務店観音寺営業所 ・ 株式会社中西製作所高松営業所 ・ 太平ビルサービス株式会社高松支店 ・ 三菱電機フィナンシャルソリューションズ株式会社四国支店
		協力企業	・ 株式会社阿波設計事務所高松支店 ・ 有限会社斎賀建築設計事務所 ・ 総合警備保障株式会社香川支社

## 2. 提案内容審査（第二次審査）

### (1) 提案書類の確認

令和5年4月14日に2グループから提出された提案資料を確認し、様式集に記載した必要書類を満たしており、不備がないことを確認した。

### (2) 提案金額の適格審査

市は、提案書に記載された提案価格が2グループとも提案限度額を超えていないことを確認した。

※提案限度額

5,027,917,000円（税抜）

提案限度額は、金利変動及び物価変動による増減額を除く額である。

なお、消費税及び地方消費税を加えた額は、金5,530,020,000円を超えないこと。

### (3) 必須項目審査

提案書類の記載内容について、審査基準に示す以下の事項を満たしていることを確認し、2グループとも必須項目審査を合格とした。

- 1) 要求水準書の水準が未達でないこと。
- 2) 募集要項に示す要件及び様式集に示す提案資料の作成に関する条件について違反のないこと。

### (4) 加点項目審査

選定委員会は審査基準に示す評価基準に基づき、提案書類の記載内容について、構成員名を明らかにせず評価項目ごとに審査を行った。

評価	評価基準	点数化の方法
A	特に優れた提案となっている	配点×1.00
B	優れた提案となっている	配点×0.75
C	やや優れた提案となっている	配点×0.50
D	要求水準を満たす程度の提案となっている	配点×0.25

加点項目審査の結果は次頁以降のとおりである。

【加点点目審査結果】

評価項目		配点	受付番号 15	受付番号 61
事業計画	事業実施方針	40	38.00	38.00
	資金調達・返済計画	30	24.00	24.00
	リスク管理	30	28.50	22.50
	市民の健康増進等に係る取り組み	10	9.00	7.00
	地域社会への貢献	10	8.50	8.50
	余剰調理能力の活用支援	10	9.00	8.50
	小計	130	117.00	108.50
設計・建設	施設整備の基本方針及び配置計画	40	34.00	34.00
	施設整備計画	40	34.00	36.00
	調理設備・備品計画	30	27.00	25.50
	施工計画	30	28.50	24.00
	周辺環境への配慮	40	36.00	32.00
	ライフサイクルコスト・地球環境への配慮	30	25.50	22.50
	地域経済への貢献	30	28.28	27.50
	小計	240	213.28	201.50
準備業	開業準備計画	30	25.50	25.50
	小計	30	25.50	25.50
維持管理	維持管理業務の基本方針	20	20.00	18.00
	修繕計画	20	20.00	16.00
	地域経済への貢献	20	18.00	16.00
	小計	60	58.00	50.00
運営	運營業務の基本方針	40	40.00	32.00
	調理業務	40	38.00	34.00
	衛生管理業務	40	40.00	34.00
	配送・回収業務	30	22.50	27.00
	食物アレルギー対応食	30	30.00	24.00
	食育支援業務	30	28.50	28.50
	地域経済への貢献	30	28.50	25.50
	小計	240	227.50	205.00
合計（性能評価点）		700	641.28	590.50

### (5) 提案金額の審査

提案金額を対象として、次に示す方法に基づき価格点を付与した。

$$\text{価格評価点} = 300 \text{ 点} \times (\text{最低提案金額} / \text{当該提案金額})$$

#### 【価格点の算出結果】

項目	受付番号 15	受付番号 61
提案金額 (円：税抜)	4,982,037,000	4,889,683,000
価格点	294.44	300

※算出した得点の小数点第3位を四捨五入

### (6) 総合評価及び最優秀提案者の選定

選定委員会は、加点審査により付与した性能評価点と、前項の計算式に基づき算出した価格評価点の合計値である総合評価点を算出し、点数が最も高い受付番号 15 を最優秀提案者として選定した。また、次点候補として受付番号 61 を選定した。

#### 【総合評価点の算出結果】

項目	受付番号 15	受付番号 61
性能評価点	641.28	590.50
価格評価点	294.44	300.00
総合評価点	935.72	890.50

## 第5 審査の講評

### 1. 各評価項目の講評

#### (1) 事業計画

評価項目	審査講評
事業実施方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付番号 15 は、クラウドシステムの導入による情報の一元管理や、同種事業の実績が評価された。</li> <li>・受付番号 61 は、グループの統率に配慮した実施体制が評価された。</li> </ul>
資金調達・返済計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両グループとも、確実な資金調達と収支計画、不測の資金需要への具体的な対応策が評価された。受付番号 15 は、建中ローンの実行回数等が特に評価された。</li> </ul>
リスク管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付番号 15 は、本事業特有のリスク分析及び適切なリスク分担についての提案、顕在化した場合のバックアップ体制についての具体的な提案等、堅実なリスク管理が評価された。</li> <li>・受付番号 61 は、リスクを顕在化させないための体制及びリスクが顕在化した場合の対応策の提案が評価された。</li> </ul>
市民の健康増進等に係る取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付番号 15 は、地場産品の流通支援に関する提案が評価された。</li> <li>・受付番号 61 は、食育をテーマとした様々なイベントに関する提案が評価された。</li> </ul>
地域社会への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付番号 15 は、グループ全体の強みを活かした地域の食に対する発信体制、地域との共創性についての提案が評価された。</li> <li>・受付番号 61 は、地域とのかかわりに関する提案が評価された。</li> </ul>
余剰調理能力の活用支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付番号 15 は、多様な分野への食事提供や、段階的な検討・準備スケジュールについての提案が評価された。</li> <li>・受付番号 61 は、業務内容に応じた支援についての提案や、運営企業実績が評価された。</li> </ul>

#### (2) 設計・建設

評価項目	審査講評
施設整備の基本方針及び配置計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付番号 15 は、安全面、機能に配慮したゾーニングや入退館の動線に関する提案が評価された。</li> <li>・受付番号 61 は、安全性の高い動線計画に関する提案が評価された。</li> </ul>
施設整備計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付番号 15 は、作業効率を重視した動線計画についての提案が評価された。</li> <li>・受付番号 61 は、動線交差を防止するための具体的な提案や、構造計画に関する提案が評価された。</li> </ul>
調理設備・備品計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付番号 15 は、おいしい給食の実現に向けた最適温度を保つための提案が評価された。</li> <li>・受付番号 61 は、想定献立を考慮した調理設備の配置についての提案が評価された。</li> </ul>
施工計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付番号 15 は、本事業の特徴に応じた計画や、安全管理、就労環境の確保に関する提案が評価された。</li> <li>・受付番号 61 は、安全管理、就労環境の確保に関する提案が評価された。</li> </ul>

評価項目	審査講評
周辺環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付番号 15 は、各業務段階における周辺環境への影響を最小限に抑えるための工夫が評価された。</li> <li>・受付番号 61 は、周辺環境及び安全確保に配慮された適切な対策が評価された。</li> </ul>
ライフサイクルコスト・地球環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付番号 15 は、ライフサイクルコストの低減に繋がる項目ごとの具体的な配慮事項に関する提案が評価された。</li> <li>・受付番号 61 は、環境負荷低減につながる施設整備内容に関する提案が評価された。</li> </ul>
地域経済への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両グループとも、市内企業を最大限活用するための具体的な方策が評価された。</li> </ul>

### (3) 開業準備

評価項目	審査講評
開業準備計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付番号 15 は、市との連携や従業員の実践的な研修に関する具体的な提案が評価された。</li> <li>・受付番号 61 は、目的に応じた具体的なリハーサルの提案が評価された。</li> </ul>

### (4) 維持管理

評価項目	審査講評
維持管理業務の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付番号 15 は、クラウドシステムの導入による迅速な市との情報共有についての提案が評価された。</li> <li>・受付番号 61 は、緊急時における具体的な管理体制についての提案が評価された。</li> </ul>
修繕計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付番号 15 は、クラウドシステムの導入による体系的な管理や、運営継続のための配慮事項についての提案が評価された。</li> <li>・受付番号 61 は、予防保全を基本とした業務遂行の提案が評価された。</li> </ul>
地域経済への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両グループとも、市内企業を最大限活用するための具体的な方策が評価された。</li> </ul>

### (5) 運営

評価項目	審査講評
運営業務の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付番号 15 は、豊富な実績を活かした提案や、経験者を多く配置した実施体制、従事者が子どもを身近に感じられる工夫に関する提案が評価された。</li> <li>・受付番号 61 は、就労環境の確保に関する提案や、従事者のモチベーションを上げる取り組みについての提案が評価された。</li> </ul>
調理業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付番号 15 は、調理技術マニュアルの共有に関する提案や、子どもたちの発達段階に応じた調理工程の提案が評価された。</li> <li>・受付番号 61 は、子どもたちに楽しく食べてもらうための工夫や、栄養教諭との連携についての提案が評価された。</li> </ul>
衛生管理業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付番号 15 は、独自の教材資料を用いた衛生に関する教育体制や、従事者等の健康管理体制についての提案が評価された。</li> <li>・受付番号 61 は、食中毒及び異物混入を防止するための効果的な対策についての提案が評価された。</li> </ul>

評価項目	審査講評
配送・回収業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付番号 15 は、様々な状況に備えた配送ルートの設定についての提案が評価された。</li> <li>・受付番号 61 は、デジタルを活用した運行状況の管理や、予備車両についての提案が評価された。</li> </ul>
食物アレルギー対応食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付番号 15 は、チェック体制や代替食の検討、食材調達ルートについての提案が評価された。</li> <li>・受付番号 61 は、あらゆるリスクに対する未然防止策が評価された。</li> </ul>
食育支援業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付番号 15 は、事業所との連携や ICT を活用した提案が評価された。</li> <li>・受付番号 61 は、食育だけに留まらないセンターとしての取り組みについての提案が評価された。</li> </ul>
地域経済への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付番号 15 は、雇用や地域経済の促進についての具体的な提案が評価された。</li> <li>・受付番号 61 は、市民雇用を促進する方策が評価された。</li> </ul>

## 2. 審査の総評

はじめに、総評にあたり、本事業に対して関心を持って頂いたこと、また、提案資料の作成にあたっての努力に対して感謝申し上げます。

今回、多くの企業から関心が寄せられた中で、最終的に2グループから応募があった。提出のあった提案資料は、本事業の内容を十分に理解し、これまでの各企業の実績を基に創意工夫が盛り込まれており、市の要求水準を上回る提案内容が示されていた。

受付番号15の提案としては、地場産品の流通支援や地域の食に対する発信体制、雇用等に関する地域経済への貢献についての提案や、維持管理等における迅速な情報共有システムに関する提案、安心・安全でおいしい給食やアレルギー対応食を提供するための具体的な調理体制の提案等があり、これらの提案が特に評価された。

受付番号61の提案としては、デジタルを活用した不測の事態にも配慮した配送・回収に関する提案や、動線交差を防止するための具体的な施設整備に関する提案、食育だけに留まらない独自の着眼点を有した学びを育む食育支援に関する提案等があり、これらの提案が特に評価された。

これらの提案に対し委員会は、審査基準に基づき、厳正かつ公正に審査を行い、株式会社ジーエスエフを代表企業とするジーエスエフグループを最優秀提案者として選定した。

今後ジーエスエフグループは事業契約を締結し、長期間にわたる事業を実施することとなる。その際に、市とジーエスエフグループは、本事業が極めて重要な位置付けを担うものであることを再認識し、官民パートナーシップの精神に基づいた協議を行い、本事業の円滑な推進に努めていただきたい。

なお、今後、最優秀提案者として選定されたジーエスエフグループが、市と事業契約を締結し、本事業をより良いものとするため、以下の項目について十分に配慮して整備・運営いただけるよう委員会として要望する。

- ・食数の減少に応じた余剰能力の有効活用について、市と協議を重ねて入念な計画・準備に努めること。
- ・事業特性を踏まえたリスク予防策を実施し、リスクを顕在化させない仕組みづくりに努めること。
- ・市民の雇用促進や市内企業の活用、地産地消等、地域社会の貢献に努めること。
- ・供用開始時から安心・安全で質の高い給食サービスを円滑に実施するため、各業務間の連携や市との連携に努めること。
- ・安全面に配慮してアレルギー対応食を提供し、事業期間内において対応アレルゲンの確実な拡充に努めること。
- ・緊急時の対応等を考慮して適切に配送車両を調達し、確実に配送・回収が行われるように努めること。